

令和2年度 第2回東京都保険者協議会データ分析部会 会議要旨
委員定数 11名

1 開催日時 令和2年10月27日（火） 午前9時55分～午前11時48分

2 開催会場 東京区政会館20階205会議室

3 出席者 【11名】

東京都担当部署	1名
全国健康保険協会東京支部代表	2名
健康保険組合代表	3名
国民健康保険の区市町村代表	2名
国民健康保険組合代表	1名
共済組合代表	1名
後期高齢者医療広域連合代表	1名

4 会議次第

○開 会

○議 題

- (1) 日本健康会議の2020年度における保険者協議会の達成要件（宣言3）の達成状況の報告について
- (2) 令和2年度 データ分析に関する研修会の実施について
- (3) 令和2年度の取組について
- (4) 令和3年度以降の取組について
- (5) その他

○閉 会

5 会議要旨

（事務局）

議題(1)「日本健康会議の2020年度における保険者協議会の達成要件（宣言3）の達成状況の報告について」

【資料1】を用いて説明

（部会長）

質問、意見等はあるか。

(事務局)

議題(2)「令和2年度データ分析に関する研修会の実施について」

【資料2】を用いて説明

(部会長)

コロナ禍での動画配信は全般的に好評いただいたのではないかと思います。

令和3年度も、データ分析に関する研修会を開催するかについて何か意見はあるか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副部会長)

時間の制約を受けないというのが非常に有効ではないか。動画サイト等の活用は引き続き行えればと思う。閲覧できない件は、著作権の関係もあるが、DVDを配布するなどの対策が可能であれば、検討いただきたい。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

動画配信というのは非常に有効だったと考える。業務の都合で参加できない場合でも動画であればいつでも見られる。

(部会長)

特に反対意見もないので、令和3年度も引き続き開催ということでよろしいか。

(委員)

賛成の声。

(部会長)

令和3年度も引き続きデータ分析に関する研修会は開催をしていく。

形式について、意見を伺いたい。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

都の保健事業関係の研修は、今年度は動画配信型の研修に切り替えている。

一方で、講師の先生と質疑を受けられないことが動画配信型のデメリットと思う。予算の関係もあるが、可能であれば集合型研修も視野に入れ、同時に動画配信も行うような形も考えられるのでは。

(健康保険組合を代表する委員)

比較的自由な時間で多くの人に参加できるということは大きなメリットと思う。来年度については動画による研修を第一に考えるのがいいのではないかと。

また、集合研修を基本にそれを補う形で動画配信を行うというのも非常によい考えではあるが、予算の都合がつけばと思う。どちらか一つであれば、来年度は動画を中心に検討するのがいいのではないかと。

(部会長)

予算的なものはどうか。

(事務局)

データ分析に関する研修会は、1日の開催として予算を組んでいる。負担金の中で運営しているため、両方兼ねては難しいと思う。今年度はコロナ禍ということで、集合研修から動画配信に切り替えるにあたり講師の先生にお願いし、快く引き受けていただいた。来年度に依頼する講師の先生によって対応できる、できないが出てくるかと思う。予算の中で運用できるように対応したいと考える。

(部会長)

講師の方が対応いただけるのであれば、動画での研修が有意義だと受け取れる。まず動画を対応でよろしいか。

(事務局)

1点説明を訂正する。プログラム研修会とデータ分析に関する研修会は、別の日に設定していたがコロナ禍の問題があり、講師と調整を行い同じタイミングで録画をした関係で、費用が低減された。他の研修会と実施時期を合わせると、録画や撮影場所の費用を抑えることができるので、12月の予算計上のときに集合研修と動画の組み合わせも負担金を上げない前提で考えたい。

(部会長)

データ分析部会の研修のみではなく、他の研修と一緒に開催など調整を図りながら進めていくというのは可能か。

(事務局)

講師の選定と調整によって可能である。

(部会長)

令和3年度のデータ分析に関する研修会は開催をしていく。開催方法については他の研修等とも調整を図りながら、動画配信で進め、12月に予算計上することよろしいか。

(事務局)

【資料2】 P4 今後の流れについて説明

(部会長)

本日の協議内容を基に事務局で進めていただきたい。

(事務局)

議題(3)「令和2年度の取組について」

【資料3】を用いて説明

(部会長)

質問、意見等はあるか。

健康スコアリングレポートを第3回の部会で共有するにあたり、業種・地域、保険者の独自で行っているものなど、どんな形で各保険者の状況を持ち寄り、情報共有ができるのか。各委員の意見を伺いたい。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

健康スコアリングレポートは、各保険者の状況が違うと思うので、可能な範囲で共有できればと思っている。たたき台に書いてあるのはある程度比較できると思う。その他の独自でやっていることを持ち寄ることができれば、お互いに参考にできるのではないか。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

事務局のたたき台で大丈夫だと思う。活用状況を各保険者に意見を伺えるといいのでは。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

事務局のたたき台だと思う。健康スコアリングレポートの出力はすぐできるが分析とい
うところが難しいと思っている。次回にいろいろ教えていただけるとありがたい。

(国民健康保険組合を代表する委員)

事務局のたたき台でいいと思うが、スコアリングレポートのデータの性質・内容が健保
と国保と同じであれば共有可能であり、評価できると思うので、その辺を検討していくの
がいいのではないか。具体的にレポートの活用方法、実際どのように活用あるいは評価す
るなど理解し切れていないところがあるので、その辺も併せて共有できればと思う。

(後期高齢者医療広域連合を代表する委員)

健康スコアリングレポートは出力してみたが、活用状況まで至っていない。この機会に
情報共有し、活用や比較して見ることによって、他の保険者と比べて高齢者になってから
の傾向が見えたり、年代関係なく共通で見られるなどあれば参考になると思っている。

(共済組合を代表する委員)

健康スコアリングレポートは、内容的にも当然、組合員などには公開すべきものなので、
事務局たたき台のように共有して、勉強することは恐らく大丈夫かと思うが、詳細につい
ては改めて考えて判断させていただきたい。

(健康保険組合を代表する委員)

基本的に事務局のたたき台に賛成である。

1点確認だが、参考例というのは分析したら出てくるという事務局の予想があるのか。

(事務局)

昨年度、口頭で報告いただいた内容を書いている。

(健康保険組合を代表する委員)

個人の感想だが、よくできていると思う。実際の結果もこうなると予想する。

(健康保険組合を代表する委員)

事務局のたたき台で賛成である。独自分析しているものを提供・共有できるものがあれ

ば、非常にありがたい。

過去の保険者の取組状況等がある程度反映した部分や事業主とのコラボヘルスの状況等も加えていくなども共有できれば今後、有効に活用できるのではないかと考えている。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

事務局の提案、素案に賛成である。分析した内容や各健診の受診勧奨、具体的な事業の内容など、可能な範囲で情報共有できるようにと考えている。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副部会長)

事務局のたたき台、基本的にはこれで異論はない。年齢構成・性別・事業（業務）の3つである程度状況が判明してくると思う。数値がいい保険者の好事例が何か存在するのか。数値が悪い場合は、何か取組み事例があるのかなどを持ち寄ることで、さらに前進していくのではないかと考える。

(部会長)

健康スコアリングレポートについては、本日協議した内容を基に事務局のほうで進めていただきたい。

その他の取組として中間評価の実施状況についての情報交換をお願いしたい。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副部会長)

実施状況の共有は非常に重要と考えている。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

中間評価を効果的に進めていくためには、評価するのと同時に実施状況でよいものがあれば吸収し、結果が出せるものがあれば共有したいと考える。

(健康保険組合を代表する委員)

実施スケジュールとしては年明けから2月ぐらいまでにかけて実施ができればと思っている。体制は、自前で行い、第三者の評価というのは、特に予定はしていない。

項目・視点は、主に後期高齢者支援金の加算・減算の対象となっている事業について、人間ドック等の健診事業を中心に、アウトカム、アウトプットの指標の達成度を評価項目としていきたい。設定した指標が実際に適切であったかなども改めて確認し、二期の後半

に向けて修正を図っていきたいと思っている。

(健康保険組合を代表する委員)

下期の取組課題として、体制については自前で行うように考えている。第三者の評価については適切な第三者とは誰かという問題もあり、難しいと悩んでいるのが現状である。

(共済組合を代表する委員)

実施スケジュールは、今年度の後半で考え、体制は自前である。新型コロナの関係で体制上、難しい状況があり、省力化をしながら進めたいと考えている。

(後期高齢者医療広域連合を代表する委員)

データヘルス計画は委託業者を入れながら作成中である。たたき台はでき上がっていて、今後会議等で報告し、パブリックコメントを実施し、来年度4月に新しいデータヘルス計画を示す予定である。この場限りという形になると思うが、作成途中のものでもタイミングによっては情報共有できると考えている。

(国民健康保険組合を代表する委員)

直接担当していないのではっきり言えないが、職員を全体的に配置し、評価の準備をしている段階で、なかなか難しいと聞いている。コロナの影響で、事業の進捗が非常に思わしくないため、評価をどの辺で判断するのかなど、苦勞するのではないかと考えている。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

実施スケジュールはこれから、自前で実施の予定。中間評価の項目・視点について、教えていただきたいと思っている。各事業の評価は、毎年実施し、国保の運営協議会の中で報告し、意見等もいただいているが、全体の評価を指標に基づきどう考えるかを国から、保険者努力支援制度の枠組みの中で示され、これからというところである。

公表については、運営協議会で公表していく形を考えている。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

コロナ禍で、事業自体の進捗状況は遅れているが、中間評価は、予定どおり今年度、終わっている状況である。データヘルス計画を始めたのが遅いこともあり、昨年一年の実績を踏まえての中間評価であった。項目と視点では、今回行う中間評価が他のプランとの違

いがあるかなどが確認できればと思っている。

(東京都担当部署を代表する副部長)

国保は、保険者努力支援制度の関係が非常に多く、東京都でもデータヘルス計画自体を支援する事業を行っているが、3か年で62区市町村を支援する計画となっている。この事業だけではなく、東京都として何らかに関与していけるような方策を検討している状況。

実施方法、内容等を含めて共有させていただけるとありがたいと思っている。

(部長)

今回の会議等の中で引き続きよろしくお願ひしたい。

(事務局)

議題(3)「令和3年度以降の取組について」

【資料4】【参考1】を用いて説明

(部長)

令和3年度以降の取組についての協議に移りたい。

(東京都担当部署を代表する副部長)

案として特定健診・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、後発医薬品の取組の事例が挙げられている。基本的には、この3点について取組事例を共有することは意義があると思っている。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

保健事業として糖尿病性腎症の重症化予防と後発医薬品は、委託業者を入れている。他の保険者の話や取りまとめた報告書等を共有できれば、今後の参考になるかと思う。

(国民健康保険の区市町村を代表する委員)

特定健診・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、後発医薬品は各保険者それぞれ取り組まれていると思うので、事例等も共有させていただけることを含めお願ひしたい。

委託で行っているため、いろいろな課題があり、他の取組を参考にしたいと思っている。

(国民健康保険組合を代表する委員)

業者に委託している。糖尿病性腎症重症化予防は、集計等は委託先のスケジュールに合わせてしかない実情である。また、事業の利用者が少なく、評価にも苦勞している。

医療通知は、通知表の作成は委託先にお願ひし、細かい部分の調整は難しい。抜粋資料の145ページの通知対象とその効果について、少し掘り下げて集計できれば、参考にできるのではないかと思う。

(後期高齢者医療広域連合を代表する委員)

健診については62市区町村に委託をして実施いただいている。

糖尿病性腎症重症化予防については、保健事業と介護予防の一体的実施事業が今年度から始まり、62区市町村の一体的実施事業の中で、後期高齢者まで年齢を広げて取り組んでいただければと考えている。

(共済組合を代表する委員)

事務局で挙げている3点の項目について、報告書に取りまとめることでよいと考える。可能な範囲でご協力したいと思うが、事務局のほうでひな形を示したほうがまとめやすいかなと思うので、お願ひしたい。

(健康保険組合を代表する委員)

事務局の挙げた項目は、保険者の共通課題と思う。後発医薬品は、かなりのレベルで普及してきたと思われ、飛躍的な改善は難しい状況と感じている。今後、どのように使用率の向上を図っていくか、先進的な取組事例等があれば、出していただきたいと考えている。

(健康保険組合を代表する委員)

特定健診・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、後発医薬品については、保険者で長年の課題とされている。研修等で取組事例が紹介いただき、保険者での工夫などについてはは感心している。こういった取組事例を参考にしているので、この3点で進めればと思う。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

事務局から提案は、いずれも土台となる指標になるかと思う。他保険者の事例を共有できるというのは非常に貴重な機会であり、取組事例は非常に有効なものと考えている。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副部長)

事務局の意見で特段異論はないが、糖尿病性腎症の重症化予防は非常に難しい課題であり、各保険者では受診勧奨や保健指導等を中心に取り組んでいると思う。高齢化してからの対策は非常に難しいので、早期に患者である対象者と接触していく。今後は医師との連携も重要な課題だと思っている。いろいろな好事例等を持ち寄りながら議論を深めていくべきではないか。

(部会長)

令和3年度以降の取組として特定健診・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、後発医薬品の利用促進、各保険者の取組を報告してまとめていけたらと思う。意見をまとめていく中では、事務局でひな形を作成し、報告をしやすいようお願いしたい。

事務局から何かあるか。

(事務局)

具体的にどのようにしていくかは検討させていただく。

来年度の予算について、報告書を取りまとめるということで予算を計上したいと思う。

詳しいところについては次回以降、ご協議をお願いしたい。

(部会長)

議題(5)、その他について質問・意見等はあるか。

(事務局)

議題(5)「その他」

【資料5】を用いてスケジュールを説明

(部会長)

質問・意見等はあるか。他に事務局より何かあるか。

(事務局)

今年度の研修会において帝京大学の福田先生に講義いただき、データヘルス計画の中間評価マニュアルを資料提供いただいた。参考資料として送付するので、活用いただきたい。

ウェブで会議を行った場合、参加可能かどうか、挙手をお願いしたい。

(Web会議開催者挙手)

Webexを検討しているが、制約等は何かあるか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

あらかじめ何か必要な場合は、本部にアプリをインストールする手続が必要となる。

その際は事前にお声がけをいただきたい。

(事務局)

使う場合は手順とか、早目にご案内をさせていただく。

(部会長)

Web会議ができるよう、環境の整備は進めているか。

(事務局)

今後のコロナの状況を見ながら考えなければいけないと思うが、今後検討させていただき、場合によってはアンケート等をとらせていただく可能性があるので協力いただきたい。

(部会長)

以上で本日の議事は全て終了とする。

閉 会